

令和4年度

西宮文学案内

前期講座

古くから文学作品などに登場することの多かった西宮。
関わりある作家や作品をとり上げその魅力を探っていきます。

第1回

井上靖の描く関西・西宮

8月5日(金) 15:00 ~ 16:30
西宮市立勤労会館 ホール
(松原町2-37)
・JR「西宮駅」南西 徒歩7分
・阪神「西宮駅」東 徒歩8分

新聞記者であった井上靖は、小説を書く上でも取材を欠かしませんでした。後輩記者である山崎豊子にも影響を与えたその執筆姿勢を、西宮を舞台にした『闘牛』などの初期短篇から考察します。

みのとしこ
箕野聰子

(神戸海星女子学院大学 教授)



神戸女学院高等学部・大学卒業。関西学院大学大学院後期博士課程単位取得。「関西文化に育まれた文学」を研究。著書に『横光利一と関西文化圏』(共著)、『新聞から見る1923年の神戸』(共著)など。

第2回

西宮ゆかりの作家 藤本義一の思い出

作家 藤本義一は、学生時代から「東の井上ひさし、西の藤本義一」と呼ばれ、テレビドラマ、舞台、ラジオなどで多彩な才能を発揮。西宮市内の自宅で阪神・淡路大震災に遭遇し、被災遺児のため「浜風の家」を立ち上げるなど、復興支援活動にも熱心に取り組みました。西宮とゆかりの深い直木賞作家 藤本氏のご遺族を招き、故人をしのびます。

8月26日(金) 15:00 ~ 16:30
西宮市大学交流センター 大講義室
(西宮市北口町1-2 アクタ西宮東館6階)
・阪急「西宮北口駅」北東 徒歩2分

対談 中田有子 なかた ゆうこ (長女)

芦屋市奥池町『藤本義一の書斎』館長。
「アスペスト疾患患者と家族の会」会員。
県立西宮高校、関西学院大学卒。西宮在住。



藤本芽子 ふじもとまいこ (次女)

1963年、堺市出身。9歳より西宮在住。切り絵やコラージュを中心に個展開催。『詩とファンタジー』年間イラスト優秀賞受賞。

河内厚郎 かわうちあつろう
(文化プロデューサー)

蓮沼純一 はすぬまじゅんいち
(西宮芦屋研究所)

第3回

西宮に住んだ文化人とノーベル賞との関係

日本人で初のノーベル賞に輝いた湯川秀樹の中間子理論は苦楽園時代の成果、花房秀三郎は医学生理学賞の候補でした。谷崎潤一郎・井上靖・遠藤周作らは文学賞の候補となり、今は村上春樹や小川洋子が取り沙汰されています。

9月25日(日) 14:00 ~ 15:30
西宮市大学交流センター 大講義室
(西宮市北口町1-2 アクタ西宮東館6階)
・阪急「西宮北口駅」北東 徒歩2分

講師：河内厚郎 かわうちあつろう (文化プロデューサー)

1952年西宮市生まれ。演劇評論家。元「関西文学」編集長。兵庫県立芸術文化センター・特別参与。阪急文化財団理事。芦屋市民センター(ルナホール)運営受託者。宝塚市大使。はびきの市民大学学長。西宮市文化振興財団評議員。著書に『わたしの風姿花伝』『淀川ものがたり』など。



聞き手：増井孝子 ますいたかこ (ラジオパーソナリティ)

西宮市出身。中高大と神戸女学院に通い大学在学中からラジオの仕事を始める。板東英二、原田伸郎、藤本義一氏らと番組を担当。司会、映画評論家としても活動中。現在はラジオ関西「ばんぱんひろみ! ラジオDELISHO!」、さくらFM「西宮徹底解剖」等に出演中。

◆単発受講可。但し、抽選となる場合は連続受講希望の方を優先します。

定員◆第1回 200名 第2回 100名 第3回 100名

受講料◆各回500円

お申込み◆ハガキ、FAX、ホームページ“お問い合わせ欄”的何れかにて
①受講希望日②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥性別⑦電話番号を記入の上お申込みください。

締切／7月7日(木)必着

※ 定員に満たない場合は締切後も受け付けます。

宛先◆〒662-0918 西宮市六湛寺町10番11号

(公財)西宮市文化振興財団「西宮文学案内」係

FAX.0798-33-3455 ホームページ <https://nishi-bunka.or.jp/>

※ 複数名でのお申込み(3名まで可)は、全員について上記①～⑦を記入ください。

※ 定員を超えた場合は抽選で受講者を決定します。当落結果は7月下旬に郵送します。

新型コロナウィルス感染予防にご協力ををお願いいたします。

・37.5°C以上発熱のあるお客様は入場をお断りします。

・マスク着用および手指消毒をお願いいたします。マスク着用のない方は、入場をお断りする場合がございます。

・出演者への面会はご遠慮ください。

・ご応募いただいた個人情報は、新型コロナウィルス感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する場合がございますので了承ください。

・感染状況によっては中止となる場合がございます。